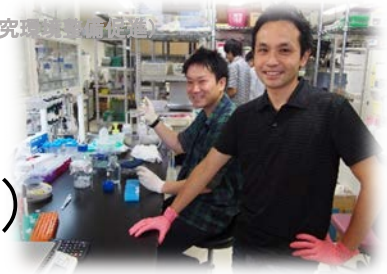




科学技術人材育成費補助金「テニュア・トラック普及・定着事業」(若手研究者の自立的研究環境の整備)
 群馬大学テニュアトラックプログラム「若手先端科学研究者の研究環境改革」

先端科学研究指導者育成ユニット

柴田 淳史 (DNA修復研究室)

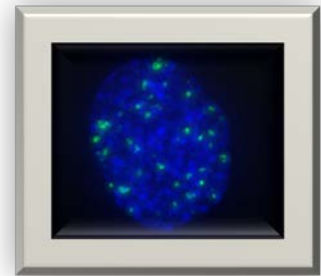
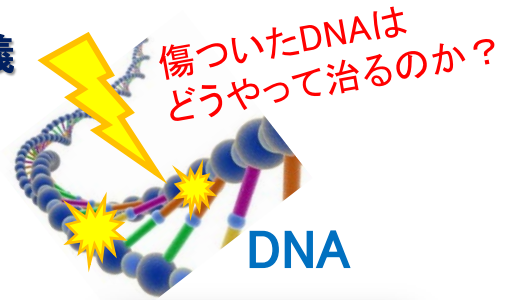
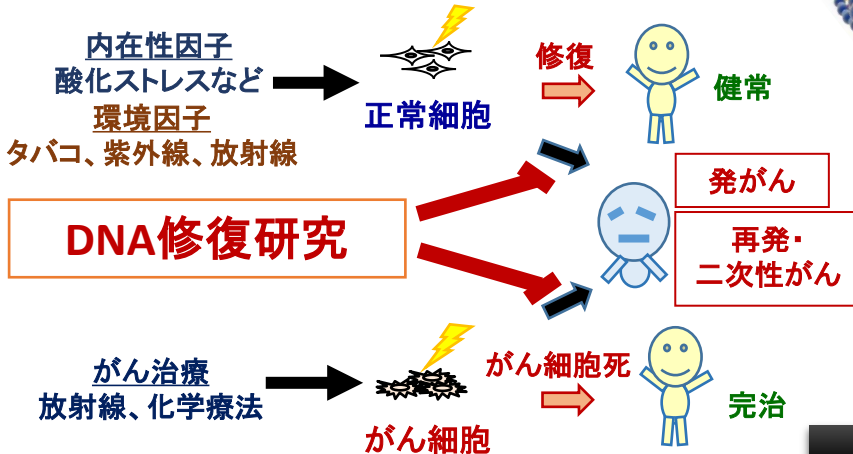


研究目標と仕事の内容

日本人の3人に1人はガンで亡くなっていると言われていたのですが、40代~80代までで見ると、ガンが死亡原因の1位となっています。近年の目覚ましい科学技術の発達により、さまざまなガン治療方法が開発されつつありますが、未だ撲滅には至っておりません。日本の放射線治療は欧米と比較しても全く遜色なく、非常に優れた技術により日々治療成績を高めています。放射線治療時には細胞内のDNAが傷つき、それに伴ってDNA修復反応がスタートします。我々の研究室ではDNA修復の視点から、放射線治療を含めた種々の癌治療で生じるDNA損傷がどのように修復されるかを解明することで、ガン治療の改善を目指します。上記目標に共感できる方、ぜひ見学にいらしてください。

DNA修復の視点から見た癌研究の二つの意義

1. 発がんメカニズムの解明
2. 癌治療法の開発・改善



蛍光顕微鏡を使うと、細胞核(青)の中のDNAの傷を緑の光で見ることが出来ます!

問い合わせ

研究をスタートするのに必ずしも大きな目標はいらないかもしれませんが、サイエンスへの興味は実はいつも単純だったりします。「切れてしまったDNAがどうやって治るの?」と興味湧いてきた方、ぜひご連絡ください。また、より詳しい研究内容については、メール又は電話にて気軽にお問い合わせください。

TEL : 027-220-7977

メール : shibata.at@gunma-u.ac.jp

研究室HP: <http://shibatelab.com/>

研究室Facebook: <https://www.facebook.com/pages/Atsushi-LAB/37421642940>

研究業績: Shibata et al., Mol Cell, 2014, EMBO, 2011, MCB, 2010等。その他の業績はHPから見られます)



研究室HPへのQRコードはこちら

柴田 淳史のプロフィール

1977年生まれ

学歴

- 2001年 共立薬科大学(現慶応大学) 薬学部卒
- 2003年 共立薬科大学 薬学修士号取得
- 2006年 東京医科歯科大学 博士号取得(医学)

職歴

- 2006-2013年 英国サセックス大学 研究員
- 2013-2017年 群馬大学 テニュアトラックYA助教
- 2017年4月から 群馬大学 ERSC 研究講師